

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【公表番号】特表2018-513598(P2018-513598A)

【公表日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2018-019

【出願番号】特願2017-547949(P2017-547949)

【国際特許分類】

H 04 W 72/14 (2009.01)

H 04 W 72/12 (2009.01)

【F I】

H 04 W 72/14

H 04 W 72/12 110

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月4日(2019.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信の方法であって、

ユーザ優先度レベルの指示を受信するステップと、

前記ユーザ優先度レベルに対応する送信時間間隔(TTI)を判定するステップであって、

前記TTIは、スケジューリングインジケータを監視するための間隔を定義し、前記スケジューリングインジケータは、複数のユーザ優先度レベルにマップされた複数のスケジューリングインジケータのうちの1つであり、各スケジュールインジケータは、前記複数のユーザ優先度レベルのうちのそれぞれの1つが割り当てられたユーザに関してグラントが利用可能になる場合があるかどうかを示す、ステップと、

判定された間隔に応じて前記スケジューリングインジケータを監視するステップと、
を含む方法。

【請求項2】

グラントが利用可能になる場合があることを前記スケジューリングインジケータが示す場合に、ダウンリンク制御情報(DCI)を復号するステップをさらに含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記DCIは、

複数のTTIにわたって変動する動的パラメータと、

複数のTTIごとに一度のみ変化する半静的パラメータと、

を含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記復号は前記DCIのインスタンスごとのブラインド復号を含み、

前記ブラインド復号は、前記動的パラメータに関する仮説および前記半静的パラメータに関する仮説を使用する、

請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記復号は前記DCIのサブセットに対するコヒーレントな復号を含み、

前記コヒーレントな復号は、半静的パラメータに関する仮説を使用する、
請求項3に記載の方法。

【請求項 6】

前記DCIは、符号化および送信ができるようにデータとマージされる、
請求項2に記載の方法。

【請求項 7】

別のスケジューリングインジケータを監視するための別の間隔を判定するステップであ
って、前記他のスケジューリングインジケータが、継続中のグラントに関する復号を停止
すべきかそれとも開始すべきかを示す、ステップと、

前記他の間隔に応じて前記他のスケジューリングインジケータを監視するステップと、
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

前記他のスケジューリングインジケータを受信するステップと、

前記グラントに関連する優先度よりも高い優先度を前記他のスケジューリングインジケ
ータが示す場合に継続中のグラントに関する復号を一時的に停止するステップと、
をさらに含む、請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

前記スケジューリングインジケータを受信するステップと、

受信した前記スケジューリングインジケータに関するビットマップの長さを判定するス
テップと、

前記ビットマップの前記長さに基づいて前記グラントに関するリソースロック割振り
を判定するステップと、

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

ユーザ機器デバイスに関連するスケジューリング優先度インデックス間隔に応じてダウ
ンリンク制御情報(DCI)を復号するステップをさらに含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項 11】

前記複数のスケジューリングインジケータは、リソースロックごとに割り振られるか
あるいはサブバンドごとに割り振られる、

請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

前記スケジューリングインジケータは、複数のユーザに共通するチャネル上で監視され
る、

請求項1に記載の方法。

【請求項 13】

前記スケジューリングインジケータは、特定のユーザ専用のチャネル上で監視される、
請求項1に記載の方法。

【請求項 14】

ワイヤレス通信のための装置であって

ユーザ優先度レベルの指示を受信するための手段と、

前記ユーザ優先度レベルに対応する送信時間間隔(TTI)を判定するための手段であって
、前記TTIは、スケジューリングインジケータを監視するための間隔を定義し、前記スケ
ジューリングインジケータは、複数のユーザ優先度レベルにマップされた複数のスケジ
ューリングインジケータのうちの1つであり、各スケジュールインジケータは、前記複数の
ユーザ優先度レベルのうちのそれぞれの1つが割り当てられたユーザに関してグラントが
利用可能になる場合があるかどうかを示す、手段と、

前記間に応じて前記スケジューリングインジケータを監視するための手段と、
を備える装置。

【請求項 15】

ワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、前記コンピュータ実行可能コードが、

請求項1から13のいずれか一項に記載の方法を実行するためのコードを含む、
非一時的コンピュータ可読記憶媒体。